



平成29年2月9日

各位

会社名 北川精機株式会社
 問合せ先 代表取締役社長 内田雅敏
 (コード:6327、東証 JASDAQ)
 問合せ先 執行役員財務部長 小林 由和
 (Tel:0847-40-1200)

**営業外収益の計上及び
 平成29年6月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異並びに
 特別損失計上のおそれに関するお知らせ**

平成28年8月19日に公表いたしました平成29年6月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。また、平成29年6月期第2四半期における「営業外収益の計上」及び「特別損失計上のおそれ」について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上について

当第2四半期連結累計期間において、為替相場の変動により為替差益33百万円を営業外収益に計上いたしました。当該為替差益は、当社グループが保有する外貨建資産・負債から発生したものであります。

なお、上記の金額は主に、平成29年6月期第2四半期末時点での為替相場による評価換算差額であり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

2. 連結業績予想と実績値との差異について

平成29年6月期第2四半期累計(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,570	20	10	30	4 30
今回の実績値(B)	1,492	103	100	124	17 86
増減額(B-A)	△78	83	90	94	
増減率(%)	△4.9	418.8	906.1	314.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年6月期第2四半期)	1,167	△72	△114	△82	△11 83

【差異の発生した理由】

計画していた売上の一部が次四半期にずれ込み売上は予想を下回ったものの、堅調な受注を背景とした工場の安定稼働による生産性の向上により営業利益は予想を上回りました。また、営業外収益に為替差益33百万円を計上したこと等から、経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益も予想を上回りました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、製品の納期・受注金額にバラツキがあり、大型案件になるほど売上までに相当期間を要し、月単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

また、通期の業績予想につきましては、現時点で変更はありません。

3. 特別損失計上のおそれについて

平成28年3月、当社製品の中国輸出に際し、部品の一部が海上輸送中に海中に落下するという事故がありました。その後、顧客より保険会社・船会社・当社に対し、協議のうえ損害賠償金RMB202万(約33百万円)を支払うよう請求があり、現在3社に対する訴訟を検討しているとの連絡を受けております。

当社は、今回の事故原因は製品を不適切な場所に積載した船会社にあり、当社には全く責任がないものと考えており、弁護士の見解書を添えて顧客に対し当社の主張を伝えております。訴訟を提起された場合には、当社の正当性を主張し法廷の場で争っていく方針であります。

今後、訴訟等の状況いかんによっては特別損失を計上するおそれがあります。業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上